

2028年技能五輪国際大会について

資料 6

概要

- 原則22歳以下の青年技能者を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の職業訓練の振興及び技能水準の向上を図るとともに、国際交流と親善を目的に隔年で開催。幅広い職種を対象とする、唯一の世界レベルの技能競技大会。日本選手団は、1962年から参加。これまで日本は、過去3回国際大会を開催（1970年東京、1985年大阪、2007年静岡）
- 2028年技能五輪国際大会の開催国については、2024年9月9日にフランス・リヨンで開催されたワールドスキルズインターナショナル（WSI）総会での加盟国・地域による信任投票の結果、満場一致で日本（愛知）に決定。※日本開催は21年ぶり。
- 2025年8月に組織委員会を設立し、関係機関と連携しながら2028年技能五輪国際大会の開催に向けて準備を進めていく。

開催までのスケジュール

年度	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)	2027 (令和9)	2028 (令和10)
開催国	第47回 フランス (リヨン)		第48回 中国（上海）		第49回 日本（愛知）
イベント	9月 WSI 総会 (開催国決定)	8月 組織委員会設立 (東京都内)	9月 上海大会 (大会旗引継ぎ)	秋頃 日本大会の選手選考	11月 開催

組織委員会概要

項目	概要
名称 (和文)	一般財団法人2028年技能五輪国際大会日本組織委員会 ※設立後1年を目途に公益財団法人へ移行予定
名称 (英文)	WorldSkills Aichi 2028
事務所	東京都新宿区神楽坂4-1-1
設立者	愛知県、中央職業能力開発協会

開催概要（想定）

項目	概要		
大会名称	第49回技能五輪国際大会（日本・愛知大会）／ WorldSkills Aichi 2028（仮称）		
日時・場所	競技	愛知県国際展示場 2028年11月16～19日（4日間）	
	開会式	IGアリーナ	2028年11月15日（1日間）
	閉会式 さよならパーティー	IGアリーナ	2028年11月20日（1日間）
参加国・地域	65か国・地域 以上	職種数	62職種
参加者	選手 約1,700人 その他関係者 約3,600人 来場者 約30万人（目標値）		



愛知県国際展示場
(Aichi Sky Expo)



IGアリーナ
(愛知国際アリーナ)

技能五輪国際大会の概要

- **原則22歳以下の青年技能者**を対象に、技能競技を通じ、参加国・地域の**職業訓練の振興及び技能水準の向上**を図るとともに、国際交流と親善を目的に**隔年で開催**。幅広い職種を対象とする、**唯一の世界レベルの技能競技大会**。日本選手団は、1962年から参加。これまで日本では、**過去3回国際大会を開催**（1970年東京、1985年大阪、2007年静岡）。
- 国際大会はワールドスキルズインターナショナル（本部オランダ・WSI）により運営されており、**89か国・地域が加盟（2024年9月時点）**。
日本は中央職業能力開発協会（JAVADA）が加盟。
- 直近では、2024年9月に第47回技能五輪国際大会（フランス・リヨン）が開催。**日本からは47職種に55名の選手が参加し、金メダル5個、銀メダル5個、銅メダル4個を獲得。**
- 今後の国際大会は、**2026年9月に中国・上海、2028年11月に日本・愛知で開催予定。**
- 2025年8月に**組織委員会を設立**し、関係機関と連携しながら2028年国際大会の開催に向けて準備を進めていく。

【これまでの開催国】

開催年	2007年	2009年	2011年	2013年	2015年	2017年	2019年	2022年	2024年
開催国	第39回日本（静岡）	第40回カナダ（カルガリー）	第41回イギリス（ロンドン）	第42回ドイツ（ライプツヒ）	第43回ブラジル（サンパウロ）	第44回アラブ首長国連邦（アブダビ）	第45回ロシア（カザン）	第46回15か国分散開催	第47回フランス（リヨン）
参加国・地域	46	46	48	52	59	59	62	56	60
競技職種数（日本参加数）	47（46）	45（40）	46（39）	46（40）	50（40）	51（40）	56（42）	61（51）	59（47）
参加選手数（日本選手数）	812（51）	845（45）	925（44）	986（45）	1,189（45）	1,251（45）	1,348（48）	989（59）	1,313（55）
日本の成績（金、銀、銅）	金メダル数1位（16、5、3）	金メダル数3位（6、3、5）	金メダル数2位（11、4、4）	金メダル数4位（5、4、3）	金メダル数3位（5、3、5）	金メダル数9位（3、2、4）	金メダル数7位（2、3、6）	金メダル数3位（8、5、5）	金メダル数5位（5、5、4）

【第47回大会の競技職種（59職種）】

日本は59職種のうち47職種に参加
赤字は第46回大会追加の7職種、青字は第47回大会追加の1職種、網掛けは日本選手未出場の12職種

※メダルの表記は第47回大会実績

建設・建築系（13）		アート・ファッション系（6）		情報通信系（7）		製造エンジニアリング系（19）			サービス系（8）		輸送系（6）	
タイル張り	配管 敢	貴金属装身具 銅	情報ネットワーク施工 銅	産業機械 金	製造チームチャレンジ 銀	メカトロニクス 銀	美容/理容 金	自動車板金 金				
電気 敢	れんが積み	フラワー装飾 敢	モバイルアプリケーション開発 敢	機械製図CAD 銅	CNC旋盤 銀	CNCフライス盤 敢	ビューティーセラピー 敢	航空機整備				
左官	広告美術	洋裁	業務用ITソフトウェア・ソリューションズ 敢	溶接 敢	電子機器組立て 敢	工場電気設備 敢	洋菓子製造 敢	自動車工 敢				
家具	建具	グラフィックデザイン	ウェブデザイン	自律移動ロボット 敢	構造物鉄工 銅	インダストリー4.0	西洋料理 敢	車体塗装 金				
建築大工 敢	造園 銀	ビジュアル販売促進	ITネットワークシステム管理 銀	化学実験技術	水技術	3Dプリント	レストランサービス 敢	重機メンテナンス				
冷凍空調技術 敢	建設コンクリート施工	3Dデジタルゲームアート 敢	クラウドコンピューティング 敢	工業デザイン技術	光電子技術	再生可能エネルギー 金	看護/介護	物流貨物輸送				
デジタルコンストラクション			サイバーセキュリティ	ロボットシステムインテグレーション 敢			パン製造 敢					
							ホテルレセプション					

報道関係者 各位

令和 7 年 8 月 7 日

【照会先】

一般財団法人2028年技能五輪国際大会日本組織委員会

事務総長 小林 洋司

事務局長 花咲 恵乃

総務部長 花木 俊敬

(電話番号) 03(6265)0960

人材開発統括官付能力評価担当参事官室

参事官 飯田 明子

2028年技能五輪国際大会準備室

室長 大村 倫久

室長補佐 三浦 淳一

(代表電話) 03(5253)1111(内線5880)

(直通電話) 03(3595)3378

「一般財団法人 2028 年技能五輪国際大会日本組織委員会」を設立しました

2028 年に日本（愛知県）で開催される第 49 回技能五輪国際大会の準備・運営等を担う「一般財団法人 2028 年技能五輪国際大会日本組織委員会」を、下記のとおり、本日設立しました。

設立にあたり、設立時理事会、第 1 回理事会と第 1 回評議員会を開催し、組織委員会の設立や運営に必要な事項等について決定しました。

会議終了後に開催した設立記念イベントでは、特別顧問の福岡厚生労働大臣から挨拶を行い、また、2024 年に開催された第 47 回技能五輪国際大会（フランス・リヨン大会）で金メダルを獲得された星野悠音様（トヨタ自動車株式会社）、濱吉優希様（株式会社 E-standard）からメッセージをいただきました。

記

1 一般財団法人 2028 年技能五輪国際大会日本組織委員会

(1) 役員等（役職順・氏名五十音順。敬称略）

会 長 筒井 義信（一般社団法人日本経済団体連合会会長）

会長代行 大橋 徹二（中央職業能力開発協会会長）

大村 秀章（愛知県知事）

副 会 長 有馬 浩二（愛知県経営者協会会長）

輪島 忍（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長）

事務総長 小林 洋司（中央職業能力開発協会理事長）

事務局長 花咲 恵乃（一般財団法人 2028 年技能五輪国際大会日本組織委員会）

理 事 有吉 伸人（株式会社 NHK エンタープライズ代表取締役社長）

大関 東支夫（一般社団法人全国技能士会連合会会長）

多 忠貴（全国専修学校各種学校総連合会会長）
可知 洋二（日本労働組合総連合会愛知県連合会会長）
勝野 哲（一般社団法人中部経済連合会会長）
小林 健（日本商工会議所会頭）
嶋尾 正（愛知県商工会議所連合会会長）
中山 拓也（エクシオグループ株式会社アクセスエンジニアリング本部
中央技術研修センタ所長）
新浪 剛史（公益社団法人経済同友会代表幹事）
幡野 徳絵（タカラベルモント株式会社タカラ・インターナショナル
エステティックカレッジ講師）
森 洋（全国中小企業団体中央会会長）
森 義久（全国商工会連合会会長）
守屋 文俊（公益社団法人全国工業高等学校長協会理事長）
山口 高広（愛知県中小企業団体中央会会長）
芳野 友子（日本労働組合総連合会会長）
監 事 池田 千絵（名川・岡村法律事務所弁護士）
岡村 俊克（岡村俊克公認会計士事務所公認会計士）
評 議 員 國分 泰雄（学校法人ものづくり大学学長）
宗宮 徳昌（中央職業能力開発協会常務理事）
武石 恵美子（学校法人法政大学教授）
古本 伸一郎（愛知県副知事）
特別顧問 福岡 資麿（厚生労働大臣）

（２）事務所所在地
東京都新宿区神楽坂四丁目 1－1

2 設立記念イベント

日 時：令和 7 年 8 月 7 日（木）14:30～14:50

場 所：経団連会館（千代田区大手町 1－3－2）4 階 ダイアモンドルーム

出席者：一般財団法人 2028 年技能五輪国際大会日本組織委員会 役員等（うち 19 名）

福岡 資麿 厚生労働大臣

第 47 回技能五輪国際大会（フランス・リヨン大会）金メダリスト

星野悠音：車体塗装職種（トヨタ自動車株式会社）

濱吉優希：美容/理容職種（株式会社 E-standard）

内 容：会長挨拶（筒井経団連会長）

開催県知事挨拶（大村会長代行）

特別顧問挨拶（福岡厚生労働大臣）

メダリストからのメッセージ

記念撮影

3 その他

2028 年技能五輪国際大会の詳細は、以下のウェブサイトをご覧ください。
<https://worldskills.jp/worldskillsaichi2028/>



・記念撮影



・会長挨拶（筒井経団連会長）



・開催県知事挨拶（大村会長代行）



・特別顧問挨拶（福岡厚生労働大臣）



・第47回技能五輪国際大会（フランス・リヨン大会）金メダリストからのメッセージ
星野 悠音様：車体塗装職種（トヨタ自動車株式会社）
濱吉 優希様：美容/理容職種（株式会社 E-standard）



・フォトセッション

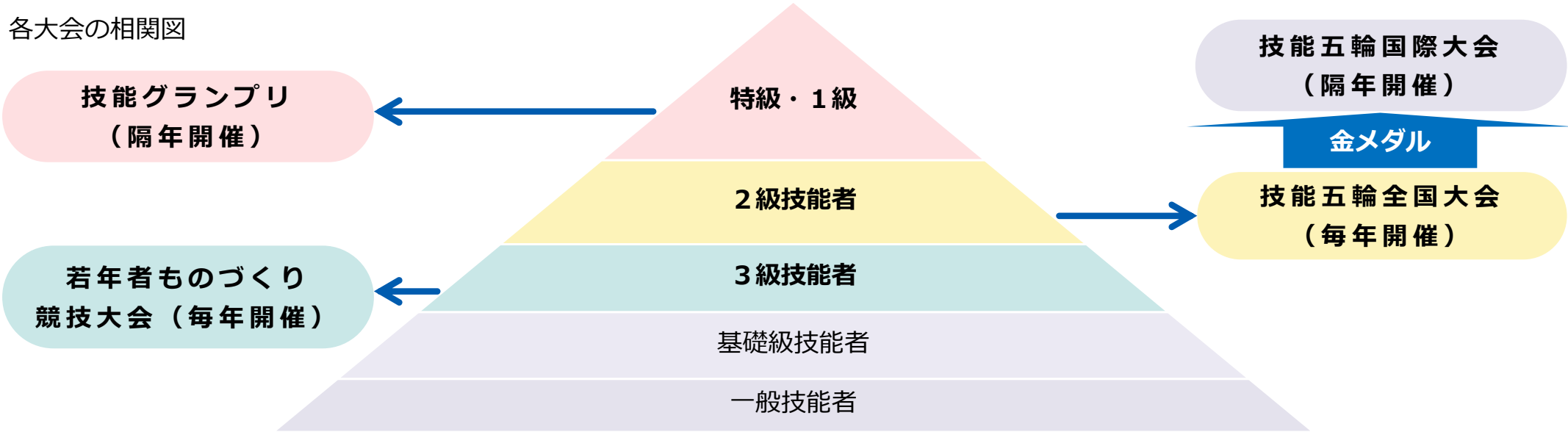


各種技能競技大会の概要

若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承に資するため、技能五輪全国大会をはじめとする各種技能競技大会を推進。

	若年者ものづくり競技大会	技能五輪全国大会	技能グランプリ
目的	技能を習得中の若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより、 <u>若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図る</u>	青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、国内の青年技能者の水準向上を図り、併せて技能尊重気運の醸成を図る（技能五輪国際大会の前年度大会は翌年度の国際大会の予選を兼ねる）	技能士の技能の <u>一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能尊重気運の醸成を図る</u>
対象	職業能力開発施設、工業高等学校等において技能を習得中（技能検定3級程度）の原則20歳以下の者で、企業等に就職していない者	技能検定2級相当以上の技能を有する原則23歳以下の青年技能者	特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した熟練技能士（年齢制限なし）
開催地と参加者数	令和6年度：群馬県 15職種 354名 令和7年度：香川県 15職種	令和6年度：愛知県 41職種 976名 令和7年度：愛知県 41職種	令和5年度：福岡県 30職種 379名 令和7年度：大阪府 30職種

各大会の関連図



第2章 賃上げを起点とした成長型経済の実現

1. 物価上昇を上回る賃上げの普及・定着 ～賃上げ支援の政策総動員～

（2）三位一体の労働市場改革及び中堅・中小企業による賃上げの後押し

（三位一体の労働市場改革）

生成AIが人間の業務を代替することによって、将来的に一部の事務職等の労働需要が減少する可能性があることも考慮して、技術トレンドを踏まえた幅広い労働者に対する効果的なリ・スキリング支援に取り組む。具体的には、AIを含むデジタルスキルに関する教育訓練給付金対象講座を拡大するとともに、全国の非正規雇用労働者等がオンラインで職業訓練を受講することを可能とする。産学協働によるリ・スキリングプログラムについて、毎年約3,000人が修得できるよう、提供拠点・プログラムを拡充する。2028年技能五輪国際大会の日本開催の決定を契機として、現場人材のスキル向上と処遇改善のための環境を整備するとともに、スキルアップを目指す国民運動を展開する。

新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版（令和7年6月13日閣議決定）

※2028年技能五輪国際大会関係抜粋

Ⅱ 中小企業・小規模事業者の賃金向上推進5か年計画の推進

4. 地域で活躍する人材の育成と処遇改善

（2）AI等の技術の進展に応じた幅広い労働者のリ・スキリング

（中略）加えて、2028年技能五輪国際大会の日本開催を契機として、関係省庁や業界団体、技能士等とも連携しつつ、中学・高校生の段階から若年層に対する技能尊重の機運醸成を図るとともに、技能労働者のスキル向上に向けた支援策を強化する。